

ナルニヤ是ヲ以テ見ルニモ其心中ニ
明白ナラサル一有ルヲ知ルニキナリ

右列著ノ大畧ヲ記シ置ク一書ヲ文章ヲ通セサル夷華
ノ事ヲハ訊問セシ條モ我カ徒授テラセトスノ疑ヲ

来ス一モヲラセト思ヒ故ニ後日ニ入ノ責言モアラハ是
ニ答ニカク又ニ其實ヲ記シテ有テ遺忘ニ備ルモナリ

一五日再ヒ筆ヲ終ス其以テ大抵右ノ如クナルニ
コレヲ思ス其其訊問セシ所ノ數條ヲ左ニ列ス

一類船三十五艘ノ内今度渡来セシ船三艘其中一
艘ハカビタニゲビスニ乗組入數四千四又一艘ハカビ

タニケニ乗組入數三千四又一艘ハ一船ハ乗組入

數二千八ナリ 此後八日ニ船九艘ニテ天津ニ来リ之時ハ
洋中ニ船四艘来リ又此外ニ小島海邊ニ

ニ船遠ニ見タリト云三艘ト云疑ハシ○子船ニカビタニ乗組
テ上陸スル一魯西亞船ノ雖美地ニ来リ之時モ毎カクノ如シ

一往日ゲビスニカ畫充中ニイキリス國ノ標旗ナリト云

ク余カ推ル所ノ万国標旗圖ト合ヤ見ルニスコットトア

ル故ゲビスニ等モ思可弁要ノ入ナラセカト思ヒ再三是ヲ

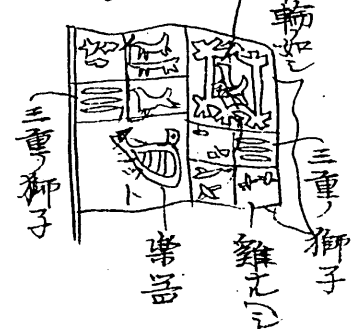
問ニ毎度イキリスト答フ 其思可弁要ニ非ルカ又ハ
スコットハイキリス三部ノ中ニテ

軍艦ノ所ナシハ有テスコットト
ナリト取タレカ事ナラス

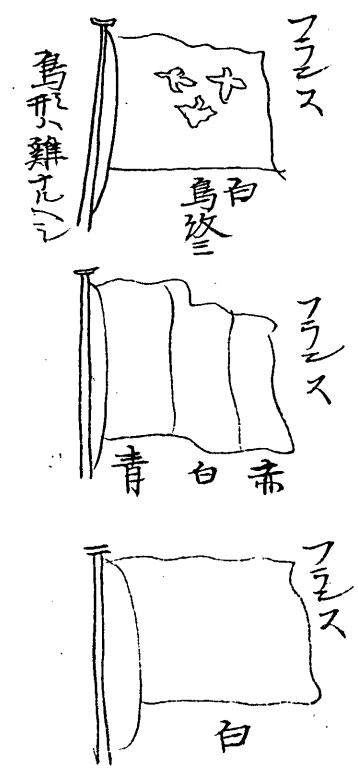
一宿尼利亞國王船標旗ノ故ハ其本西三部ヲ旗故

南書海區域 象リ及リナリト云々其圖

三重ノ獅子ハイギリス
改テ花輪ニシテ
中ノ獅子ハスエド
改テ花輪ハイリ
改テ花輪ハイリ
至三ノ花輪ハ有故
ニシテト見ル
改テ花輪ハイリ
旗ノ祝待合云々



一 今日ゲビスノ畫ク所ノ幟旗ノ圖左ニ載ス



一 吶哇の事ヲ諸厄利亞ニテ擊取リシカ再々和蘭ニ

歸ニタリト云 和蘭ノ再奪セシカ又ハ諸厄利亞ニ外ニ
志アリテ復地ヲ收メ講和セシカ可考 呂宋ハ

今ニ伊斯把泥無ニ屬シ激泥ハ和蘭ニ屬スル也

一 聖老標佐島ノ近旁ノ諸島畫ク諸厄利亞ニ屬スル也

聖老標佐ノ本島ハイギリスニ屬セスト云。是日南方諸島
及ヒ亞里利加等ノ形勢ヲ詳ニ問ント思ヒシカ此是時ゲビスノ
病ヲ發メ未タ全ク病ハス是後又性キシ時ハ庚子畫寢ニ居
死テ俄ニ死シ先故何レモ等氣殊ニ甚シク見ハタシハ詳ニ問カ
シテ止ム遺憾トスル也。庚子眠ルハ長カラスト云ハ此機ニ起ス
時ハ其睡リ覺ルカ云ト云

一 律日 諸厄利亞ハ魯西亞ノ屬ニト 問ヒ時ゲビスノ
然リト答ニハ 例ニ所及ル夷輩ノ何カ言ヒカ却テ魯

西亞西イキリスニ屬スト多 今日又再三問タル又魯西
亞諸厄利亞ニ屬スト著 魯厄利亞其東ハロシヤノ屬也
ナルニ然ルニ近來張大ニテリテ
魯ニロシヤヲモ凌ントスル勢ナリ 故カク如ク魯ヲ張セシカト思ハル
又ロシヤヲ凌ントスル勢アリハロシヤハ魯ヲ生ミタルハナキカト思モ
戰事ハナキヤト問ニ答ト著ノ然ルハ際ヲモ生モ
ニテ其款書ナリト知ルニ

一 厄力西亞ヨリ那多里亞ヲ取ル厄力西亞ト都ホ
半角ノ勢ナリト多 ○按ニギリキス再強盛ナルコトク衰ハルニヤ
ゲビスノ左右ノ大指ヲ並ヘ出シテ示タルニ

一 フロイゼニ西ヨリ翁加里亞ノ南方地ニテ取ル
本ハトルコ地ナルニフロイゼニ屬スルトトルコ
ノ中ニク衰ハシ故カト思ハル

一 教法ノ事ト排耶宗波東杜魯尔伊斯把亞魯西亞

波羅泥亞等ハ皆還馬教ヲ奉ニ都ホ格巴京

巴里亞亞刺皮亞等ハ皆馬哈默ノ教ヲ奉スト

云情厄利亞ノ教法ヲ數ニ問タル處ニ答ハス言

女子通セサレハ窮強ニ一ヲ得スト多 此其情實ハ知ルニ
其教法トテ指チテ知ルコトヲ以テ考ルニ和常ト曰ハナリト多
マレ此又イスハニヤト曰ハナリタルトモアリ又暹瑪ノ伴天連ヲ
乘セテ清ノ渡ラントセシトモアリ 然ルニ又暹瑪ノ伴天連ヲ
教不ハナリトアリ。又近世ニ至ラモ又政元年捕獲ニ来リニ時モ耶教ノ
其手冠ニキ
其形アリ

一 今日ゲビスニ自ラ筆ヲ取テ鯨ヲ捕ル國ヲ畫カク
然タリ又ゲビスニカ姓ヲヨリト多此ヨリト多一ハ耶教ノ弟子
名ヲ即チニラバカ名ニ寄ラシト多一 新井氏ノ多モ見
且耶教ノ危ヨリト多モノ、多キモ是亦其一證トスニ

其意ヲ察スル程日下トシテ固面ヲ撫テ、其意情ヲ明ニ
スル故、其事ヲ悔マサセトシテ鯨ヲ捕ル。又ニ来レ
リト多ク、再ヒ示セテナレト
君ノ外積積ノ間、美以モアトモ、頭末ノ事ヲ多ク畧
シテ祀ガ、其大要ヲ舉ルルニナリ
又改甲申六月、健舟主人書於天津寓舎

辨妄附

一 信實トシテ、其ノ事ヲ明ニシテ、其ノ意情ヲ明ニ
シテ、其ノ事ヲ悔マサセトシテ、鯨ヲ捕ル。又ニ来レ
リト多ク、再ヒ示セテナレト
君ノ外積積ノ間、美以モアトモ、頭末ノ事ヲ多ク畧
シテ祀ガ、其大要ヲ舉ルルニナリ
又改甲申六月、健舟主人書於天津寓舎

ひまきちの事しるすの事さしりねあふん
奪す所と能くしるす能くしるす能くしるす
もの多し一移りぬるの事さしりぬるの事さしりぬる
如海の内海と海をわける地と一海をわける地と
多ししるす能くしるす能くしるす能くしるす
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と

洲に山々の形をなす一海をわける地と一海をわける地と
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と
西三河内海と海をわける地と一海をわける地と
南一海をわける地と一海をわける地と

その御ありしころしり御ありし事と云ふ事人よそよしな
と白くしよ初捕鯨のたのよ事と云ふ事其の是と云ふ事
人て大豊國と云ふ御ありし事と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆの事ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
序はと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
たのよ事と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事

その御ありしころしり御ありし事と云ふ事人よそよしな
と白くしよ初捕鯨のたのよ事と云ふ事其の是と云ふ事
人て大豊國と云ふ御ありし事と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆの事ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
序はと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
たのよ事と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事
ゆゆしきと云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事其の是と云ふ事

物事のみならず、川鹿の皮も、
 毛も、
 と雅く、
 の、
 年、
 格、
 あり、
 を、
 見、

又、
 見、
 海、
 三、
 た、
 ち、
 の、
 の、
 の、
 の、

被る海をさへ 被る海をさへ 被る海をさへ
五ヶ所後 正徳の被る海 一冊 海の中 三ヶ所 被る
人と 被る海をさへ 一冊 海の中 三ヶ所 被る
一冊 海の中 三ヶ所 被る